

感染拡大防止のために② <手洗いの励行>

新型コロナウイルスの感染経路は、飛沫^[ひまつ]感染と接触感染です。飛沫感染は、マスク着用、フィジカル・ディスタンス、換気で、感染防止対策を行います。接触感染は、手洗いや手指の消毒で感染防止対策を行います。今回は、接触感染防止にかかわって、手洗いの効果について確認します。 ※裏面参照



まず、接触感染とはどのようにして起こるのでしょうか。人は、無意識に顔を触っています。もし、手にウイルスがついていた場合、その手で、目、鼻、口をさわると、それぞれにある粘膜にウイルスが付着し、感染を引き起こすことがあります。あるいは、目、鼻、口に触った手にウイルスがつき、その手でいろいろな物などを触り、感染を広げることにもなります。この接触感染を防止するのに効果的なのが、手洗いや手指の消毒です。

厚生労働省ホームページによりますと、例えば、手に約100万個のウイルスがついていたとすると、

- ・「手洗いなし」では、手についたウイルスは減ることはなく、約100万個のウイルスがついていることとなります。
- ・「流水で15秒すすぎ」をすると、手についていたウイルスは1/100になり、約1万個に減ります。
- ・「ハンドソープ[石けん]で10秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ」をすると、手についていたウイルスは1/1万になり、約100個に減ります。
- ・「『ハンドソープで10秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ』を2セット」を行うと、手についていたウイルスは1/100万にまで減り、約1個となり、感染の可能性はかなり低くなります。

とあります。また、手洗いがすぐにできない状況では、アルコール消毒液も有効です。アルコールは、ウイルスの「膜」を壊すことで無毒化するものです。

したがって、接触感染を防止するためには、自分の顔(目、口、鼻)を触る前や触った後に、手洗いや手指の消毒を行うと効果があります。生活の中で手洗いや手指の消毒をするタイミングとしては、場所移動をするとき、給食や食事の前後、共用物を使用する前後、トイレの使用の前後などで行います。また、帰宅して、すぐに手洗いをすることは、ウイルスを家庭に持ちこむことを防ぐのにも有効です。

なお、接触感染を防止するために、手洗いや手指の消毒は効果がありますが、手洗いや手指の消毒を過度に行わないことも大切です。新型コロナウイルスは皮ふから体内に侵入することはできません。しかし、過度に手洗いや手指の消毒を行うと、手荒れを引き起こします。そうすると、手荒れによるキズなどからもウイルスが体内に侵入することになりますので、過度の手洗いや手指の消毒はしないようにしましょう。ウイルスは目に見えませんが、ちゃんと手洗いをすれば、先ほど述べましたように、ウイルスは減っていますので、大丈夫です。あわせて、手荒れになりやすい・なりにくい、個々人で違います。他者に対して、「手が荒れやすいのかも…」と推しはかることも大切にしたいことです。

7月は同和問題啓発強調月間です

福岡県では、同和問題の早期解決を目指して、昭和56年度から毎年7月を「同和問題啓発強調月間」と定め、各種の啓発行事を実施し、差別をなくす取組を展開しています。

部落差別は許されないものであるとした「部落差別の解消の推進に関する法律」が平成28年12月に施行され、地方公共団体は、その地域の実情に応じた施策を講ずるよう努めるものと規定されました。こうしたことから、部落差別の解消を推進し、もって部落差別のない社会を実現するため、平成31年3月に「福岡県部落差別の解消の推進に関する条例」を施行しています。(引用:福岡県HP)

7月1日発行の【広報八女(No.1211)】の10~11ページには、「かけがえのない命が輝くまちづくりをめざして」と題して、同和問題啓発強調月間の関連記事が掲載されています。「同和問題(部落差別)は、我が国固有の重大な人権問題であり、生まれた場所という本人の意思や努力ではどうにもならないことを理由に、不利な扱いや差別的な言動をすることは決して許されません。」

本校でも、同和問題(部落差別)をはじめ個別の人権課題や人権の大切さについて、学習を進めています。ご家庭でも、差別のおかしさや人権に大切さについて、話をさせていただきますようお願いします。

(文責 木村彰男)

～ 自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること ～

手洗いのすすめ

水とハンドソープで、ウイルスは減らせます！



(参考文献) 森功次他：感染症学雑誌.80:496-500(2006)

【引用：厚生労働省HP】

新型コロナウイルスの感染経路として
飛沫感染のほか、**接触感染**に注意が必要です。

人は、“無意識に”顔を触っています！



そのうち、目、鼻、口などの**粘膜**は、
約**44パーセント**を占めています！

【引用：厚生労働省HP】

手洗いの、5つのタイミング

公共の場所から
帰った時



咳やくしゃみ、
鼻をかんだ時



ご飯を食べる時



前と後！

病気の人
のケアをした時



外にあるものに
触った時



【引用：厚生労働省HP】